**実習生の声　使用方法**

病院、クリニック、調剤薬局、歯科医院で、医療事務実習を経験した学生（５名の）の感想や抱負などを「実習生の声」として寄せていただきました。

「医療事務実習生 受け入れのお願い」の最終ページに2名分を掲載することができます。

（見本にはNo.１とNo.４を掲載しています。）

図やテキストボックスを学生ごとにグループ化していますので、１～５の中から掲載したいものを選び、グループ化してあるオブジェクトをWordデータに貼り付けてご使用ください。

No.１



**病院で実習！**



専門学校岡山情報

ビジネス学院

医療福祉事務学科２年

淺倉 亜梨沙さん

患者様対応や医療事務職における事務業務を実際に現場で拝見し、医療事務の仕事を幅広く経験できる良い機会になりました。実習3日目に事務の方に医療制度について質問をされたのですが、緊張もあり答えることができず、自分の知識不足を実感しました。初めのうちは、普段のように考えれば分かることでも、実践させてもらうと思ったようにいかず、戸惑うことがありました。しかし、実習2週目になると少しずつできることも増えてきて、カルテ入力や受付業務など任せて頂ける機会が増えました。3週間という実習期間だったからこそ、基本的な受付業務を教えて頂くだけでなく、書類作成や外国の方への対応など様々な業務を経験することができました。実習終了時には「明日からは困るわ、このまま働いてくれたら嬉しいのに…」という嬉しいお言葉を頂き、戦力としてお役に立てたということを実感できました。様々な患者様が来院される病院で実習させて頂けたからこそ、今の自分の課題を見つけることもできたと感じています。

No.２



**クリニックで実習！**



麻生医療福祉専門学校

福岡校

医療秘書科２年

中嶋 穂里（みのり）さん



２年生の５月にクリニックにて実習をさせていただきました。

実習内容としては主に会計業務、レセプト点検、医師事務作業補助、電話対応、診療中の介助のお手伝いをさせていただきました。その中で最も勉強になったと感じたことはレセプト点検です。学校では問題を解くことに集中していましたが、実際の現場では点検こそが重要で、間違った部分を見つけるということに注力します。間違いを見つけるためには、正しくレセプトを書くことよりも、より深い知識が求められるため、スタッフの方々の知識量に圧倒され、自分はまだまだ勉強が足りないと感じるきっかけになりました。

また、医師事務作業補助をさせていただいた際には、言葉の要点を聞き取りスピード感を持って対応していくことが大切だと感じました。体験を通して、将来の仕事をはっきりとイメージできるようになったことが収穫です。３週間の実習ではありましたが、クリニックの方々が毎日優しく教えて下さり、最終日には終わってしまうことへの寂しさを感じました。

No.３



**調剤薬局で実習！**



エルケア医療保育専門学校

医療福祉ビジネス科

スペシャリストコース２年

中村 咲貴子さん



私は薬局の中でも総合病院の門前薬局で実習したいと考えました。

実習先では主に受付業務をさせていただきました。実習開始当初はとにかく医療事務員の皆さんの動きや対応方法を見て学び、真似をしていました。特に勉強になったのは高齢の患者さんへの対応方法。はっきり、ゆっくり話すことを優しく丁寧に、そして確実にしていました。私は緊張から患者さんの顔も見る事ができず、全く余裕がありませんでした。そんな私でも日を重ねるごとにできることが増え、スタッフの皆さんの真似をしてきたことで気付いたら患者さんの顔を見て対応できる様になっていました。

受付業務をしている中で印象に残っているのは、多くの患者さんが「ありがとう」と言ってくれることです。帰る間際だからか表情も明るい方が多かった印象です。私もお帰りになる患者さんに笑顔で「お大事に」と言えるこの仕事がしたいと改めて感じ、初めての就職も薬局でお世話になることが決まりました。

薬局で実習した経験があるからこそ、来局される患者さんに安心してもらえる対応力を身につけることが今の目標です。

No.４



**歯科医院で実習！**



中央情報経理

専門学校

医療福祉秘書学科２年

萩原 美月さん



歯科医院での実習では、周りの状況をよく見て行動することが重要だと学ぶ良い機会になりました。実習先の歯科医院では矯正治療を専門としており、他の科に比べて患者様が長期間来院されます。業務の中には矯正治療器具の脱落・欠損・紛失等のトラブルについての問い合わせもあり、その場に応じた臨機応変な対応が求められました。実習で、口腔内のことについてはとてもデリケートであり、実際に患者様と接するときには、患者様への気遣いを忘れないこと、声の大きさやトーン、表情などに注意することを学ぶことができました。

また、実習を通して歯科の病名や器具の名称、用法などについての知識が自分にはとても不足していると痛感しました。カルテの内容も専門用語が多く、わからない用語を自主的に調べることが重要だと感じました。

今回の実習で課題を見つけることができましたので、今後は実習生ではなく職員としてしっかりした対応ができるよう、学習していきたいと思います。

No.5



**歯科医院で実習！**



中央情報経理

専門学校

医療福祉秘書学科２年

小泉 穂波さん



今回歯科医院で実習して、患者様が安心して受診するために、医療事務は重要な役割を果たしているということを学ぶ良い機会になりました。実習先の歯科医院は予約制で、予約患者様の診察が優先となります。実習の中で予約外の患者様がお見えになった時に、診察まで時間がかかるが、大丈夫であることをお伝えすると患者様の不安を取り除くことができました。医療事務の対応次第で、患者様に安心して受診していただけるということを学ぶことができました。

また、次回予約の入力業務を行わせていただいた際に、カルテに書かれている略称がわからず、衛生士の方に丁寧に教えていただきました。次回予約の入力時や患者様への説明時などに、歯科処置の略称やどのような治療なのかを理解しておく必要があると痛感しました。

今回の実習を通して、歯科知識について勉強不足だと感じました。歯科知識に限らず、自分にはまだまだ知らない知識が多くあり、今後の課題を見つけることができた実習となりました。